3-860-613-02(1)

SONY

カセットプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WM-WE1 WALKMAN

主な特長

- コードすっきり**ワイヤレスウォークマン**。
- 本体は充電式電池と乾電池の併用で約30時間の長時間再生ができる、**スタミナタイプ**。
- ワイヤレスレシーバーはアルカリ乾電池で約28時間使用可能。
- カセットぶたがしっかり閉まる、**ダブルロック機構**。

付属品を確かめる

●**充電式ニカド電池**
NC-6WM
(本体用)

NC-4WM
(ワイヤレスレシーバー用)

●**充電器**

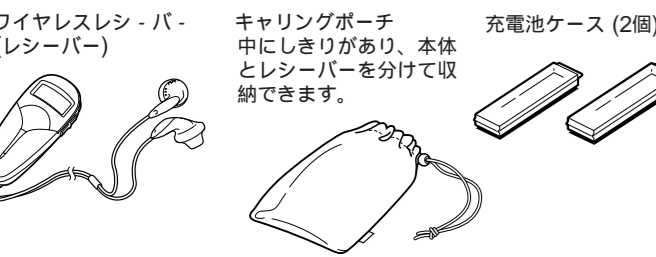
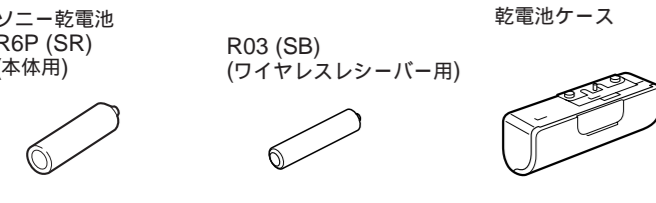
●**ソニー乾電池**
R6P (SR)
(本体用)

R03 (SB)
(ワイヤレスレシーバー用)

●**乾電池ケース**

●**ワイヤレスレシーバー（レシーバー）**

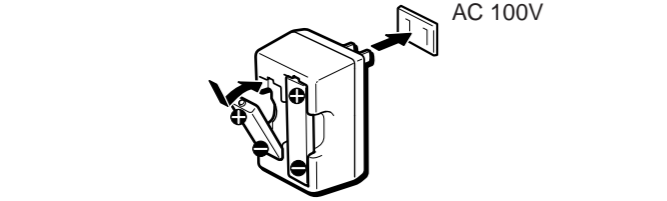
●**キャリングポーチ**
中にしきりがあり、本体とレシーバーを分けて収納できます。

●**充電池ケース (2個)**

●**取扱説明書**
●**ソニーご相談窓口のご案内**
●**保証書**

準備する

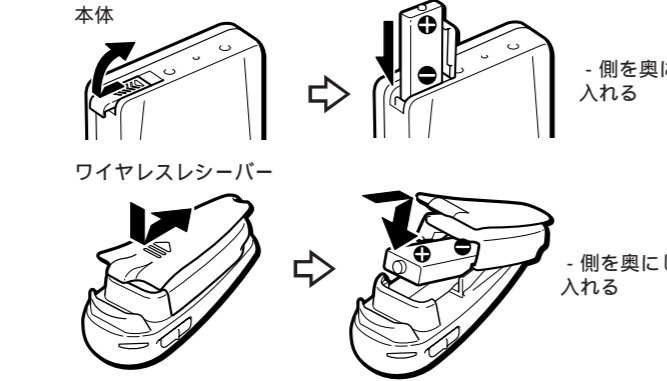
本体用、ワイヤレスレシーバー用、それぞれの電源として、充電式ニカド電池（充電式電池)、乾電池のいずれかの用意をします。
お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

1 充電する

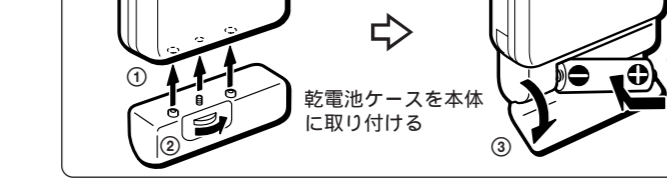
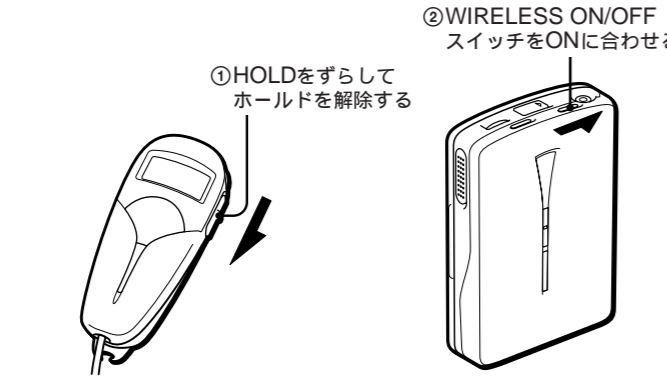
レシーバー用と本体用、両方同時では約3時間、1本ずつなら約2時間で充電完了です。

充電式電池は約300回充電できます

2 充電式電池を入れる

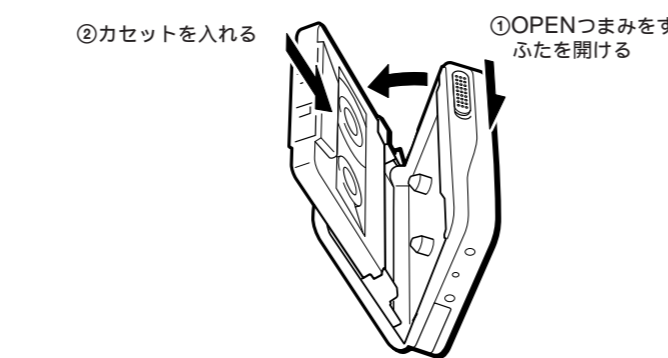
本体

ワイヤレスレシーバー

- ワイヤレスレシーバーに乾電池を入れる場合も同様にー側を奥にして入れます。

本体を乾電池で使うときは

- 本体は充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

3 ワイヤレスレシーバーを働かせる

テープを聞く

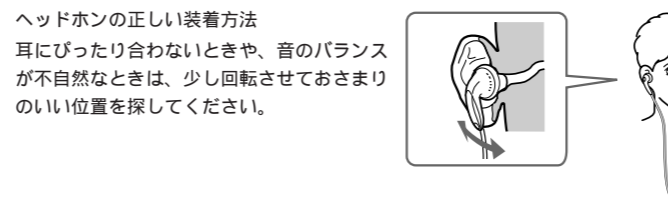
TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル) のテープを自動的に判別し、再生します（オートテープセレクター機能)。

1 カセットを入れる

❗ テープ動作中はOPENつまみをずらしてもふたは開きません。

2 再生する

レシーバーで操作します。

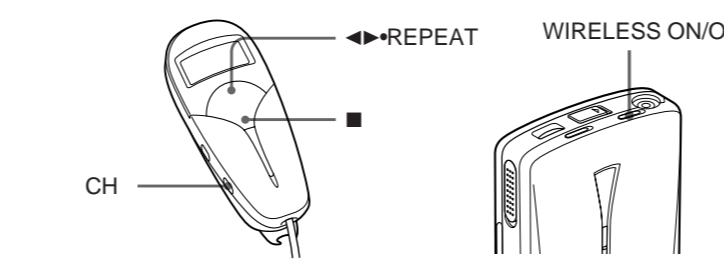
- 本体のWIRELESS ON/OFFスイッチがONになっていることを確認してください。
- レシーバーは、本体から約1m以内の距離でお使いください。
- レシーバー使用時は、本体のVOLつまみは働きません。

ヘッドホンの正しい装着方法
耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、少し回転させておさまりのいい位置を探してください。

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	ふた側の面スタート ピ 本体側の面スタート ピピ
停止	■	ピ
早送り	停止中にFF•AMS	—
巻戻し	停止中にREW•AMS	—
聞いている曲をくり返し再生（1曲リピート）	再生中に◀▶•REPEATを2秒以上 （解除するにはもう一度押す）	ボタンを押したときと巻き戻し中にピピーピ（巻き戻し中はくり返す)。 「REP」表示が点灯し、巻き戻し中は「REP」表示が点滅。
早送りして反対面を再生（スキップリバース）	停止中にFF•AMSを2秒以上	ピ→ピ、ピ 、…
巻き戻して最初から再生（オートプレイ）	停止中にREW•AMSを2秒以上	ピ→ピピ、ピピ、…

上記以外のテープ操作は、「テープを聞くー応用」をご覧ください。

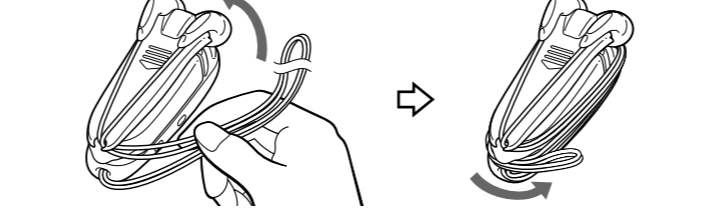
▶テープを聞くー応用

ワイヤレスレシーバーの使いかた

レシーバーで聞くときは
本体のWIRELESS ON/OFFスイッチONをにしてから、レシーバーの◀▶•REPEATボタンを押します。
レシーバーの電源が入って、音が聞こえてきます。いったんレシーバーの電源が入ると、本体でも操作することができます。

再生音が混信したら
レシーバーのCHボタンを2秒以上押したままにします。表示窓に「CH-2」または「CH-1」が点滅し、音声チャンネルが切り換わります。

レシーバーの電源について
テープが止まると、5秒後にレシーバーの電源が自動的に切れます。また、レシーバーの■ボタンを4秒以上押したままにしても切ることができます。

❐ しまう

使い終わったら、ヘッドホンのコードをワイヤレスレシーバーに巻きつけます。

1. **ヘッドホンをクリップ上部の溝に合わせてかける。**
2. **コードをクリップ下部の溝にかけ、図のようにレシーバーに巻きつける。**
3. **巻きつけたコードの端をレシーバー下部にかけてとめる。**

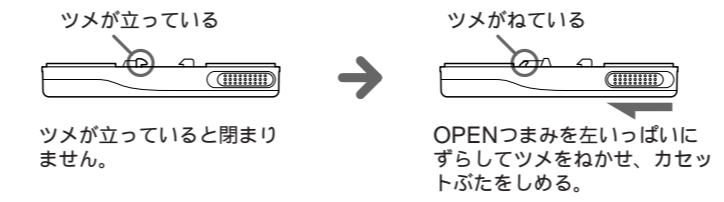
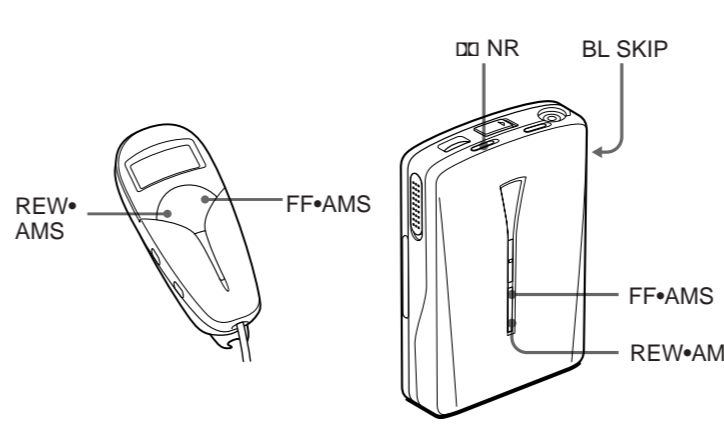
コードがからまっていたりよじれたりしていたら
からまりやよじれを直してから巻きつけてください。

長い間テープを聞かないときは
本体のWIRELESS ON/OFFスイッチをOFFに合わせてください。むだな電池の消耗を防げます。

テープを聞くときのご注意

カセットぶたが閉まらないときは、OPENつまみをずらしてください
無理に閉めようとするとツメが変形することがあります。以下の手順で閉めてください。

ツメが立っていると閉まりません。

OPENつまみを左いっぱいにずらしてツメをねかせ、カセットぶたをしめる。

いろいろな聞きかたをする

❐ 好きな曲を頭出しする（オートミュージックセンサー）

再生中にFF•AMSまたはREW•AMSを、とばしたい曲の数だけ押します。
最大3曲までとばすことができます。

操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
早送りして何曲か*先の曲を再生	再生中にFF•AMSをとばしたい曲数押す	ピ→ あと3曲：ピッピーピーピー、… あと2曲：ピッピーピー、… あと1曲：ピッピー、… 「AMS」と「FF」表示が交互に点灯し、とばす曲数が点灯。
巻き戻して何曲か*前の曲を再生	再生中にREW•AMSをとばしたい曲数押す	ピ→ あと2曲：ピッピーピーピー、… あと1曲：ピッピーピー、… この曲：ピッピー、… 「AMS」と「REW」表示が交互に点灯し、とばす曲数が点灯。

*3曲先、2曲前までとばすことができます。

AMS、1曲リピートが正しく動作しないことがあります
AMS（オートミュージックセンサー）や1曲リピートでは曲間の4秒以上のあき（無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができないことがあります。
また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。

❐ テープ走行のしかたを選ぶ（テープの走行方法とブランクスキップ）

本体側面の⥀⟲•BL SKIPスイッチを使います。両面をくり返し再生するときに、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします（ブランクスキップ)。

操作	⥀⟲•BL SKIPスイッチの位置	動作の確認音とリモコン表示
両面をくり返し再生(長いあきをとばす)	⟲•ON	あきをとばすときに、ピピピ、ピピピ 、… 「SKIP」表示が点滅
両面を1回再生*	⥀•OFF	—

* 本体側の面から始めたときは、本体側の面のみを再生します。

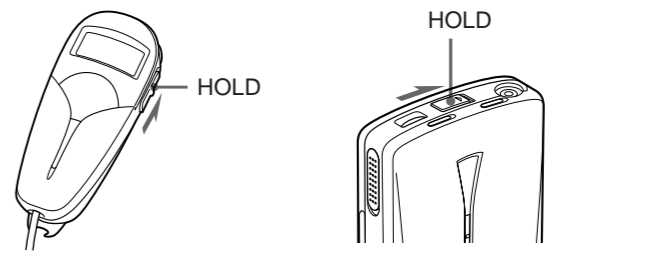
ブランクスキップが正しく動作しないことがあります
ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つけると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中でも早送りすることがあります。その場合には、⥀⟲•BL SKIPスイッチを⥀•OFFにしてください。

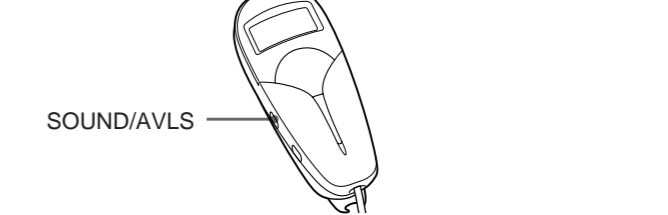
❐ ドルビー* B NRで録音したテープを聞く

本体上面のDD NRスイッチをONにします。録音の特性にあわせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合にはOFFにします。

* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

▶その他の機能を使う

誤操作を防ぐ (ホールド機能)

本体ではHOLDスイッチを▶の方向にずらして、本体の誤操作を防ぎます。
レシーバーではHOLDスイッチを━▶の方向にずらして、レシーバーの誤操作を防ぎます。

好みの音に調節する

❐ 低音を強調する (SOUND)

レシーバーのSOUND/AVLSボタンを短く押します。押すごとに次のように切り換わります。

表示	表示なし →	MB →	GRV
音質	通常の音質	低音を強調	低音をより強調

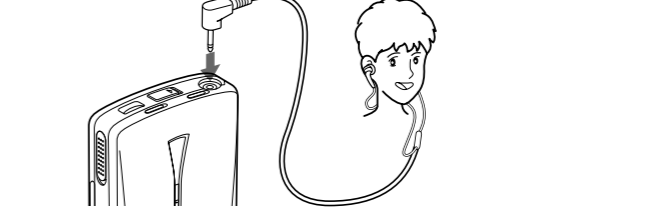
GRV（グループ）にしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、MB（メガベース）または表示なしにしてお聞きください。

❐ 音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS—オート・ボリューム・リミッター・システム—快適音量)

☺ レシーバーのSOUND/AVLSボタンを2秒以上押して、表示窓に「☺」を表示させます。
AVLS使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。

AVLSを解除するには
上記と同じ操作をし、「☺」表示を消します。

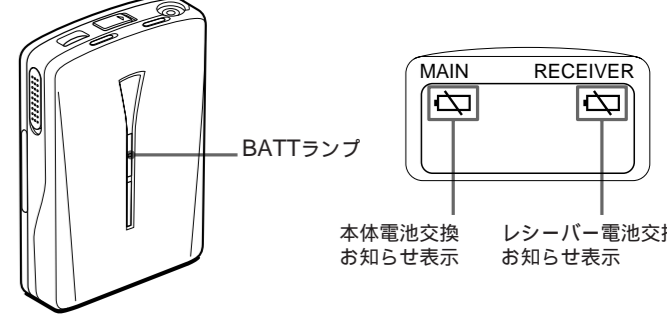
SOUND、AVLSの設定はレシーバーの電池を交換するまで記憶されています
電池を交換すると、解除されます。

別売りのヘッドホンで聞く

別売りのヘッドホンを、本体の🎧 (ヘッドホン) ジャックにさし込みます。

ご注意
- 別売りのヘッドホンを使っている間は、ワイヤレスレシーバーでは操作することも聞くこともできません。
- 別売りのヘッドホンではSOUNDやAVLSは使えません。

▶電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

本体の電池が消耗すると、本体前面のBATTランプが消え、レシーバーの表示窓の▭表示(MAIN)が点滅し、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったあと、自動的にテープは停止します。また、レシーバーの電池が消耗すると▭表示（RECEIVER）が点滅します。
乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電しなおしてください。
乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池の使用をおすすめします。

本体の電池持続時間 (テープ再生時) (EIAJ*)

使用電池	ワイヤレスレシーバー使用時	別売りのヘッドホン使用時
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約8時間	約8時間
ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	約24時間	約26時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約30時間	約32時間
ソニー乾電池R6P (SR)	約6時間	約6時間

レシーバーの電池持続時間 (EIAJ*)

使用電池	テープ再生時
充電式ニカド電池NC-4WM (100%充電にて)	約13時間
ソニーアルカリ乾電池LR03 (SG)	約28時間
ソニー乾電池R03 (SB)	約13時間

*EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

ご注意
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために
10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ (CHK-1) でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングテープは指定のものをお使いください
他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

充電・充電式電池について

- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電式電池を持ち運ぶときは、付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れると、電池の＋と－がショートして危険です。

日本国内での充電式電池の廃棄について

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

Ni-Cd

この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国での法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 一温度が非常に高いところ (60℃以上)。
  - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 一窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
  - 一風呂場など湿気の多いところ。
  - 一磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - 一ほこりの多いところ。
- 湿度が高いところ (40℃以上) や低いところ (0℃以下) では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

ワイヤレスレシーバーについて

本体とワイヤレスレシーバーの間では次のようなやりとりをしています。
(1) レシーバーから本体へ操作指示を送る
(2) 本体からレシーバーへ音と動作情報を送る
電波でやりとりしていますので、ワイヤレスレシーバーを使う際には次のことにご注意ください。

- **飛行機内では、通信電波などを乱すおそれがありますのでコード付きヘッドホンでお聞きください。**（本体にコード付きのヘッドホンをつなぐとレシーバーは使えなくなります。）
- 金属物に近づけないでください。また、金属ラベルのテープは使わないでください。受信の感度が悪くなり、雑音が入ったり、音が悪くなったりします。
- 本体の上にレシーバーをのせないでください。受信状態が悪くなることがあります。
- 本体とレシーバーは約1m以内の距離でお使いください。
- 次のような所では、受信状態が悪くなることがありますので、本体とレシーバーを近づけてお使いください。
  - － コンピューター、ワープロ周辺の電気ノイズの大きい所。
  - － テレビ塔、ラジオ塔の近くなど電波の強い所。
  - － 車内、電車内。
  - － ラジオやワイヤレスウォークマンを聞いている人の近く。
- レシーバーのコードは束ねずに、延ばしてお使いください。
- 受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。
- 雑音の多いところでは、液晶表示が安定しないことがあります。そのようなときは、本体やレシーバーの向きを変えてみてください。
- 受信状態が悪く、「––––」表示が10分以上続くと、レシーバーの電源は自動的に切れます。その前に電源を切るには、レシーバーの■ボタンを4秒以上押します。本体の■ボタンも押してテープを止めてください。

付属のワイヤレスレシーバーは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。その際、必ず本体とレシーバーの両方をお持ちください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
カセットぶたが開かない	**再生中にOPENつまみをずらした**	**テープを止めてからOPENつまみをずらす**
	再生中に電源をはずしたり電池が消耗してしまった	**電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する**
雑音が入ることがある	本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している	携帯電話などから離して使用する
テープ再生中に勝手に早送りしてしまう	ブランクスキップが働いている	⥂⥃•BL SKIPスイッチを⥂•OFFにする
音量が大きくならない	AVLSが働いている	SOUND/AVLSスイッチを2秒以上押して表示窓の「☺」を消す
ワイヤレスレシーバー使用時に雑音が多い 液晶表示が不安定(「－－－－」がでる)	レシーバーのコードがよじれたりからまったりして短くなっている	コードをのばす（コードがアンテナになっています）
	金属物の近くにある	金属物から離す
	電池が消耗している	充電式電池は充電し、乾電池は交換する
	本体とレシーバーが離れすぎている	近づける（約1m以内に）
	他のワイヤレスウォークマンと混信している	CHボタンを2秒以上押してチャンネルを切り換える
レシーバーで操作できない レシーバーで受信できない*	本体のWIRELESS ON/OFFスイッチがOFFになっている	WIRELESS ON/OFFスイッチをONにする
	本体に別売りのコード付きヘッドホンをつないでいる	別売りのコード付きヘッドホンを抜く
	本体にカセットテープが入っていない	カセットテープを入れる
	レシーバーのホールド機能が働いている	レシーバーのHOLDスイッチを矢印と反対側にする
	電池が消耗している	充電式電池は充電し、乾電池は交換する
	他のワイヤレスウォークマンと混信している	他のワイヤレスウォークマンから離して使用する
本体で操作してもレシーバーから音が出ない	レシーバーの電源が切れている（レシーバーは、レシーバーのボタンを押すことで電源が入るようになっています）	レシーバーの操作ボタンを押す
本体、レシーバーの電池を交換しても操作できない	—	電池をいったん取り出し、約15秒以上たってから入れ直す
本体を乾電池で使おうとしても操作できない	消耗した充電式電池が入っている	充電式電池を充電し直すか、取り出してから乾電池を取り付ける

* **上記の処置を行ってもレシーバーで操作できない場合は**
本体が何らかの原因によりレシーバーからの命令を認識できない状態になっています。以下の手順を行って本体にレシーバーの番号を再認識させてください。

1. 本体、レシーバーともに充分に充電された充電式電池を入れる（または新しい乾電池を入れる)。
2. 本体のWIRELESS ON/OFFスイッチをONにする。
3. 本体の■ボタンを押したままREW•AMSボタンを押し、BATTランプがついたことを確認してからさらにレシーバーの◀▶•REPEATボタンを押す。
4. 本体のBATTランプが消え、レシーバーに4桁の数字が表示されたらボタンを離す。

これでレシーバーの番号が本体に認識されました。上記の手順を行ってもレシーバーが使えない場合は、「保証書とアフターサービス」をご参照ください。

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲 (EIAJ*)	ワイヤレスレシーバー使用、ᗡᗞ NRスイッチOFF時：30～15,000 Hz コード付きヘッドホン使用、ᗡᗞ NRスイッチOFF時：20～18,000 Hz
出力端子	ヘッドホンジャック (ステレオミニジャック) 1個 負荷インピーダンス　8～300 Ω
実用最大出力	ワイヤレスレシーバー：5 mW+5 mW (EIAJ 16 Ω) コード付きヘッドホン (別売り)：5 mW+5 mW (EIAJ 16 Ω)
電源	本体：DC 1.5 V 充電式電池 (付属：NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd) または単3形乾電池 1本 ワイヤレスレシーバー：DC 1.5 V 充電式電池 (付属：NC-4WM、1.2 V、400mAh、Ni-Cd) または単4形乾電池 1本
電池持続時間 (EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」をご覧ください。 乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
搬送周波数	CH1：左チャンネル　243.71MHz ：右チャンネル　243.25MHz CH2：左チャンネル　244.86MHz ：右チャンネル　244.40MHz
最大外形寸法	約79.0 × 112.2 × 24.7 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	本体　約160 g ご使用時　約225 g (充電式電池 NC-6WM、テープ C-60HF含む) ワイヤレスレシーバー　約35 g ご使用時　約55 g (充電式電池 NC-4WM含む)

●別売りアクセサリー
充電式ニカド電池NC-6WM、NC-4WM、クリーニングテープ CHK-1、ステレオイヤーレシーバー (ヘッドホン) MDR-E837V、MDR-E848V

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より、1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて
・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

アフターサービスを依頼するときは

必ず本体とレシーバーの両方をお持ちください。

各部のなまえ

●本体

●ワイヤレスレシーバー

1. HOLD（誤操作防止）スイッチ
2. VOL（音量調節）つまみ
3. OPEN (カセットぶた開け) つまみ
4. WIRELESS ON/OFF（ワイヤレス入/切）スイッチ
5. ∩（ヘッドホン）ジャック
6. ⥂⥃（テープ走行方法切り換え）•BL SKIPスイッチ
7. ᗡᗞ（DOLBY）NRスイッチ
8. BATT（電池残量表示）ランプ
9. テープ操作ボタン
10. 本体：充電式電池入れ
    ワイヤレスレシーバー：乾電池、充電式電池入れ
11. 乾電池ケース用接点
12. 液晶表示窓
13. CH（チャンネル切り換え）ボタン
14. SOUND/AVLSボタン
15. クリップ

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

▶ Getting Started

Choosing a Power Source

Dry Batteries

Main unit
Attach the battery case to the Walkman, and then insert one R6 (size AA) battery (supplied) with the correct polarity.

Wireless receiver
Open the battery compartment lid of the wireless receiver and then insert one R03 (size AAA) battery (supplied) with the correct polarity.

Note
- Do not charge a dry battery.

Rechargeable Batteries

1. Insert the supplied rechargeable batteries (NC-6WM for the main unit and NC-4WM for the wireless receiver) to the supplied charger with correct polarity.
2. Plug in the charger to the mains.
   When charging both batteries simultaneously, full-charging takes about 3 hours. When charging one battery at a time, it takes about 2 hours.
3. **For the main unit:**
   Open the rechargeable battery compartment lid at the bottom of the Walkman and insert the charged NC-6WM battery.

   For the wireless receiver:
   Open the battery compartment lid of the wireless receiver and insert the charged NC-4WM battery.

   You can charge the battery about 300 times.

Notes
- Do not tear off the film on the rechargeable battery.
- Remove the charger unit from the wall outlet as soon as possible after the rechargeable batteries have been charged. Overcharging may damage the rechargeable battery.
- Only the NC-6WM and NC-4WM can be used with the supplied battery charger.
- Be sure not to short-circuit the battery. When you carry it with you, use the supplied carrying case. When you are not using the carrying case, do not carry it with other metallic objects such as keys in your pocket.

When to replace/charge the battery

When the battery weakens in the main unit, the BATT indicator dims and "⌂" (MAIN) will flash in the display of the wireless receiver. When the battery weakens in the receiver, "⌂" (RECEIVER) will flash in the display. Replace the dry battery and / or charge the rechargeable battery.

Battery life (Approx. hours)
Main unit

Rechargeable NC-6WM fully charged	8 (8)
Sony alkaline LR6 (WM)	24 (26)
Rechargeable NC-6WM Sony alkaline LR6 (WM) used together	30 (32)
Sony R6P (SR)	6 (6)

When using the wireless receiver
( ) When using optional earphones / headphones

Wireless receiver

Rechargeable NC-4WM fully charged	13
Sony alkaline LR03 (SG)	28
Sony R03 (SB)	13

Note
- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

For maximum performance we recommend that you use alkaline batteries.

Precaution

Never use the wireless receiver in an airplane because there is the risk of interference with communication frequencies. Listen to the Walkman by connecting the earphones or headphones cord.

▶ Operating the Walkman

Playing a Tape

1. Open the cassette holder and insert a cassette.
2. Slide the HOLD switch to switch the Hold function off.
3. Set the WIRELESS ON / OFF selector to ON.
4. Press ◀▶(play)•REPEAT on the wireless receiver and adjust the volume with the VOL control.
   If the earphones do not fit to your ears or the sound is unbalanced, turn round the earphones a little to fit to your ears firmly.

Notes
- When the tape is playing, the cassette holder does not open.
- Keep the receiver within about one meter from the main unit.
- You cannot adjust the volume on the main unit while operating the receiver.

To	Press
change the tape transport direction	◀▶•REPEAT (during playback)
stop playback	■
fast-forward the tape	FF•AMS (in the stop mode)
rewind the tape rapidly	REW•AMS (in the stop mode)
repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶•REPEAT (2 seconds or more during playback) *To stop a single repeat, press it again.*
listen to the next track / succeeding tracks from the beginning (AMS* function)	FF•AMS (shortly / repeatedly during playback)
listen to the current track / previous tracks from the beginning (AMS function)	REW•AMS (shortly / repeatedly during playback)
listen to the other side of the cassette from the beginning (Skip reverse function)	FF•AMS (2 seconds or more in the stop mode)
listen to the currently playing side of the cassette from the beginning (Auto Rewind play function)	REW•AMS (2 seconds or more in the stop mode)

* Automatic Music Sensor

To select a tape playing mode

Use the ⥂⥃ (playback mode)•BL SKIP (blank skip) selector as follows:

To	Set the selector to
play back both sides repeatedly, switch the BL SKIP on (fast-forward the tape to the next track if there is a blank space of longer than 12 seconds)	⥃•ON ("SKIP" will appear in the display window during the BL SKIP function.)
play back both sides once from the side facing the tape holder, switch the BL SKIP off	⥂•OFF

When you are listening to a tape recorded with the Dolby*B NR system

Set the ᗡᗞ NR (Dolby noise reduction) selector to ON.

* Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation.
"DOLBY" and the double-D symbol ᗡᗞ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

To conserve battery power

If a tape stops playing, the power of wireless receiver turns off automatically after 5 seconds.

To avoid noise interference

To avoid unnecessary noise interference with other Walkmans, press CH (channel) button on the wireless receiver for 2 seconds or longer to change the channel.

After use

Wrap the cord around the receiver as follows:
1. Set the earphones to fit the dent on the upper part of the clip.
2. Hook the cord on the hook at the lower part of the clip and wrap the cord around the receiver.
3. Set the end of the cord to fit inside the lobe at the bottom of the receiver.

When you are not listening to a tape

Set WIRELESS ON / OFF to OFF.

Using the optional earphones or headphones

Plug in the optional earphones / headphones to the ∩ jack.

Notes
- You cannot listen to or operate the Walkman with the wireless receiver when the optional earphones / headphones are connected to the ∩ jack.
- You cannot operate the SOUND or the AVLS function from the optional earphones / headphones.

Using Other Functions

Locking the controls —Hold function

Slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls.

Emphasizing bass sound —SOUND function

To listen to the emphasized deep bass sound, press the SOUND / AVLS button on the receiver repeatedly to select the mode you want.
Each time you press the button, the mode changes. The selected mode is displayed in the window of the receiver.
MB(MEGA BASS): emphasizes bass sound
GRV(GROOVE): emphasizes deeper bass sound
No message: off(normal)

Notes
- If the sound is distorted with the mode "GRV", select the mode "MB" or no message.
- The setting is stored as long as the battery of the receiver is not replaced.

Protecting your hearing —AVLS (Automatic Volume Limiter System) function

To limit the maximum volume, press and hold the SOUND / AVLS button on the receiver for two seconds or more. "☺"appears in the display.

To cancel the AVLS function

Press and hold SOUND / AVLS for two seconds or more again.

Notes
- If the sound is distorted when you listen to the bass-boosted sound with the AVLS function, turn down the volume.
- The setting is stored as long as the battery of the receiver is not replaced.